

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No20(心理学)

# #3 小学校から中学校へのトランジションは不安と期待 が入り交じったコインの裏表のようなもの —都筑学先生(中央大学)にインタビュー/心理学のデータから

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

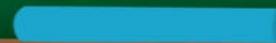
<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年幸生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



## (ご紹介)



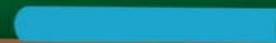
都筑 学

つづき まなぶ

中央大学名誉教授

東京教育大学卒、筑波大学大学院心理学研究科、  
単位取得退学  
大垣女子短期大学助教授を経て、中央大学文学部  
助教授、教授、文学部長（2013-2017）。  
2022年度より名誉教授

『大学生の時間的展望』（中央大学出版部、  
1999年）、『希望の心理学』（ミネルヴァ書房、  
2004年）、『自立って何だろうー社会と子ども  
たち』（新日本出版社、2021年）ほか多数



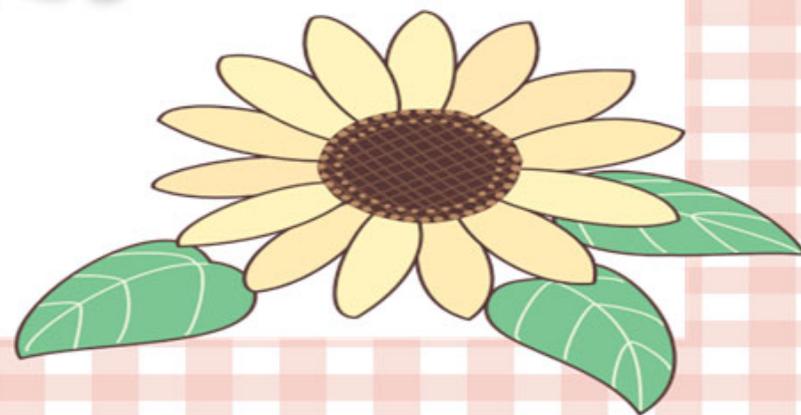
**No20(心理学)**

## #2 時間的展望研究の魅力を語る

—都筑学先生(中央大学名誉教授)にインタビュー—



たとえ叶わなくとも、未来に向かう姿勢・  
態度。淡い期待、微かな期待、一縷の  
望み・・・それが「希望」です



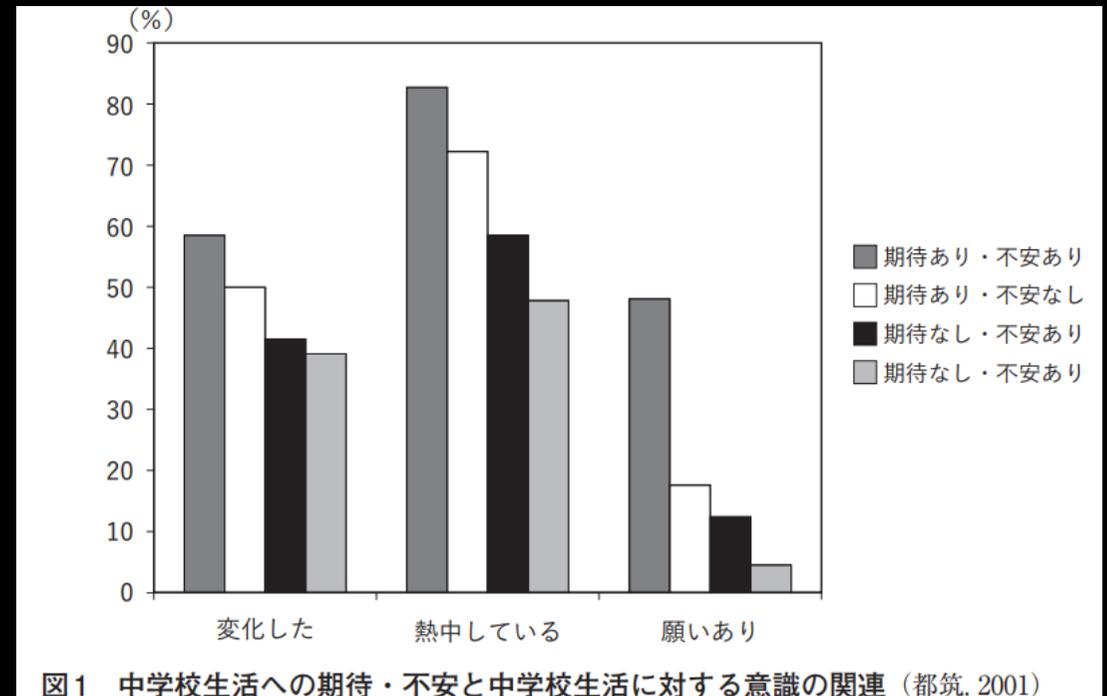
それではご覧ください

# (1)学校移行期とは

- 小中高校、大学という学校階梯
  - 学年進級
  - 上級学校への進学
- 小学生と中学生の違い
  - 児童と生徒
  - 児童期と青年期前期
  - 最上級生（小6）から最下級生（中1）へ
- 未知の世界へと足を踏み出す
  - 不安と期待
  - 周囲からのまなざし

## (2) 中学校生活への期待と不安

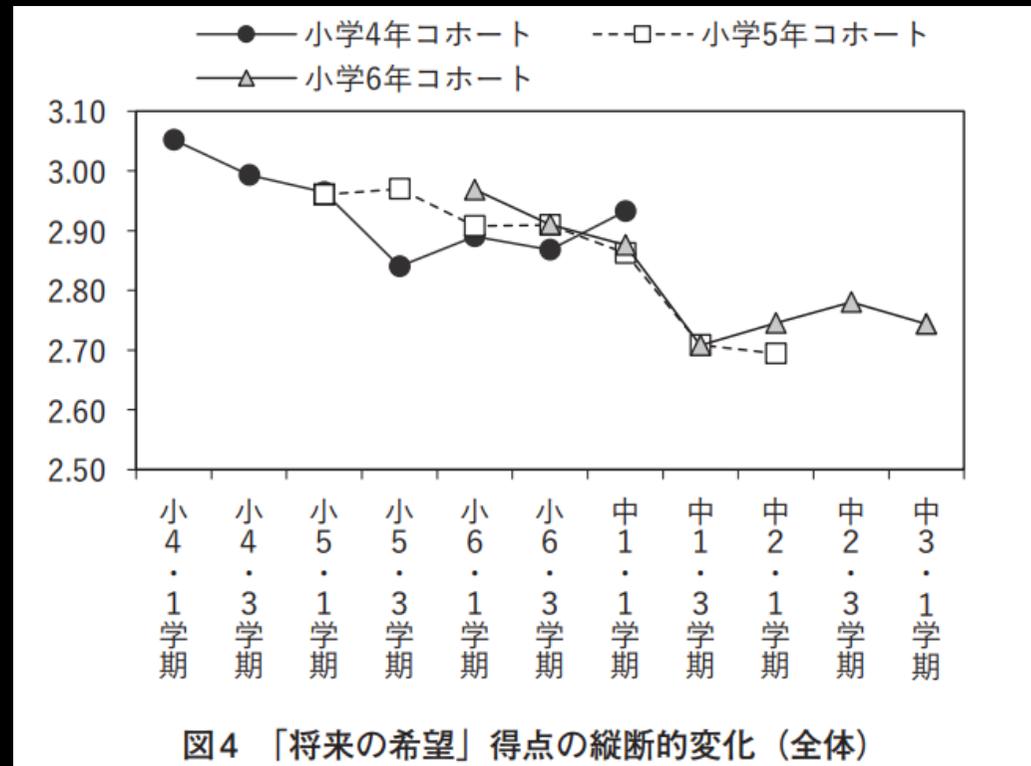
- 小学校6年の3学期
  - 中学校生活への期待と不安を4件法で質問
- 中学校1年の1学期と2学期に追跡調査  
(都筑, 2001)
- 期待あり・不安あり群は、「変化」「熱中」「願い」で最もポジティブ
- 期待と不安はコインの裏表



# (3) 将来の希望の縦断的变化

- 小4から中3まで、3つの学年コホートの縦断データ (都筑, 2008)
- 学年が上がるにつれて、将来の希望は低下していく

- ① 学年が上がるにつれて、将来の希望は低下していく
- ② 認知能力の高まりにより、現実的に考えるようになる



(都筑, 2008)

# (4) 学校移行期における変化

- 小6の学校適応タイプ

- 学校享受群
- 勉強ストレス群
- 勉強嫌悪群
- 学校忌避群

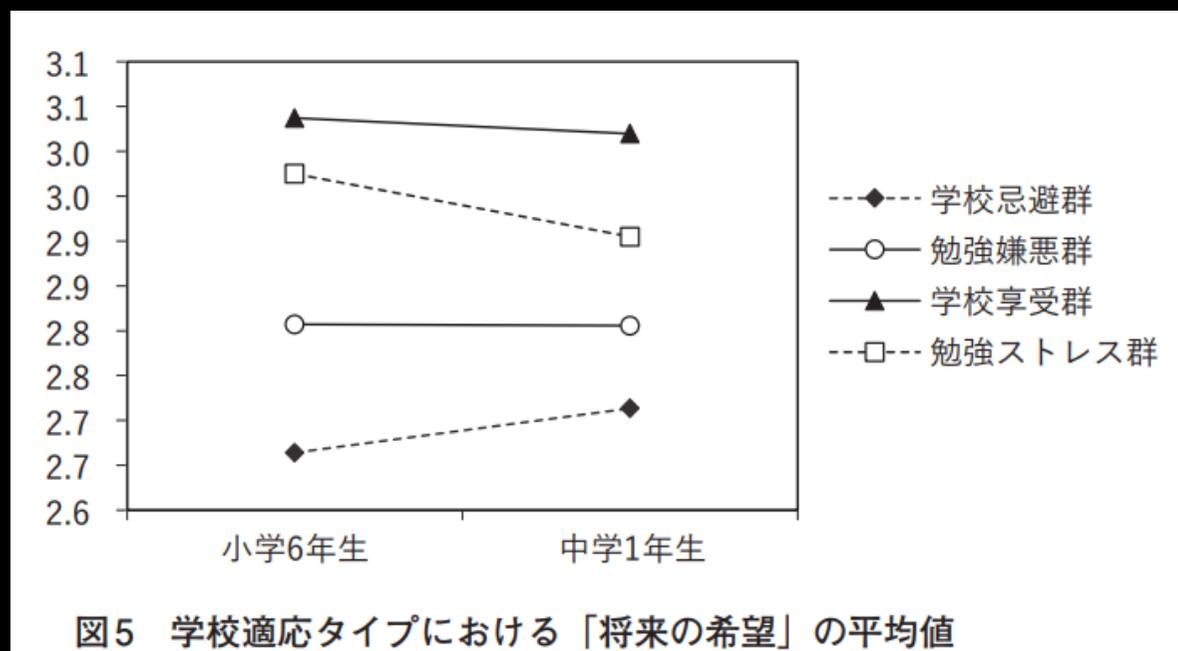
- 小6から中1での将来希望の変化

- 学校享受群 やや低下
- 勉強ストレス群 低下
- 勉強嫌悪群 ほぼ同じ
- 学校忌避群 上昇

- 環境移行期

- ピンチでもあり、チャンスでもある

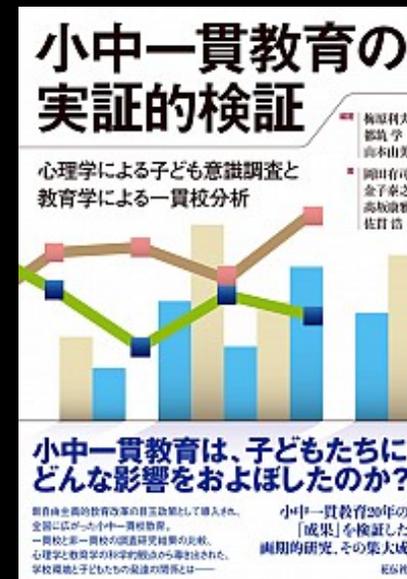
(都筑, 2008)



# (5) 研究と学校教育の結びつき

- 学校移行期に焦点を当てた縦断研究を通じて、子ども達の発達についての新たな知見を見出した
- 小学校から中学校への移行が有する発達の意味
  - 不安が期待と合わさることで生み出される力
  - 環境移行期をチャンスと捉えられる子ども達の存在

- 小中一貫教育科研  
(2012～現在まで)
  - 小中一貫校の問題点を発達心理学の視点から調査によって検討する  
(梅原・山本・都筑,2021)



# 文献

- 都筑学 (2001) 小学校から中学校への進学にともなう子どもの意識変化に関する短期縦断的研究 心理科学 22(2), 41-54.
- 都筑学 (2008) 小学校から中学校への学校移行と時間的展望 – 縦断的調査にもとづく検討 ナカニシヤ出版
- 梅原利夫・都筑学・山本由美 (編著) (2021) 小中一貫教育の実証的検証 心理学による子ども意識調査と教育学による一貫校分析 花伝社